



リリース・ノート

Sybase Control Center 3.2.7

ドキュメント ID : DC01807-01-0327-01

改訂 : 2012 年 7 月

Copyright © 2012 by Sybase, Inc. All rights reserved.

このマニュアルは Sybase ソフトウェアの付属マニュアルであり、新しいマニュアルまたはテクニカル・ノートで特に示されないかぎり、後続のリリースにも付属します。このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されているソフトウェアはライセンス契約に基づいて提供されるものであり、無断で使用することはできません。

アップグレードは、ソフトウェア・リリースの所定の日時に定期的に提供されます。このマニュアルの内容を弊社の書面による事前許可を得ずに、電子的、機械的、手作業、光学的、またはその他のいかなる手段によっても、複製、転載、翻訳することを禁じます。

Sybase の商標は、Sybase の商標リスト (<http://www.sybase.com/detail?id=1011207>) で確認できます。Sybase およびこのリストに掲載されている商標は、米国法人 Sybase, Inc. の商標です。® は、米国における登録商標であることを示します。

このマニュアルに記載されている SAP、その他の SAP 製品、サービス、および関連するロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP AG の商標または登録商標です。

Java および Java 関連のすべての商標は、米国またはその他の国での Oracle およびその関連会社の商標または登録商標です。

Unicode と Unicode のロゴは、Unicode, Inc. の登録商標です。

このマニュアルに記載されている上記以外の社名および製品名は、当該各社の商標または登録商標の場合があります。

Use, duplication, or disclosure by the government is subject to the restrictions set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of DFARS 52.227-7013 for the DOD and as set forth in FAR 52.227-19(a)-(d) for civilian agencies.

Sybase, Inc., One Sybase Drive, Dublin, CA 94568.

目次

製品の概要	1
インストールとアップグレード	1
Sybase Control Center 3.2.7 のインストールと実装	1
サポートされているサーバのバージョン	2
サポートされている製品モジュールとリリース済み のマニュアル	3
既知の問題	4
インストール、アップグレードと配備に関する既知 の問題	4
Sybase Control Center の既知の問題	6
Adaptive Server に関する既知の問題	8
Data Assurance に関する既知の問題	11
Replication に関する既知の問題	12
Sybase IQ に関する既知の問題	16
アクセシビリティに関する既知の問題	20
マニュアルの変更	22
追加の説明や情報の入手	40
サポート・センタ	41
Sybase 製品およびコンポーネントの動作確認	41
MySybase プロファイルの作成	41
アクセシビリティ機能	41
Sybase Control Center アクセシビリティ情報	42

目次

製品の概要

このリリース・ノートでは、Sybase® Control Center に関する最新の情報を提供します。最新バージョンは Web で入手できます。

Sybase Control Center 3.2.7 は、Sybase 製品のモニタ機能と管理機能を備えた製品です。

サポートされているオペレーティング・システムについては、『Sybase Control Center インストール・ガイド』を参照してください。

このバージョンの新機能については、Sybase Control Center の製品モジュールごとのオンライン・ヘルプで、新機能に関するトピックを参照してください。

アクセシビリティについては、このリリース・ノートの「アクセシビリティ機能」(41 ページ)と「Sybase Control Center アクセシビリティ情報」(42 ページ)を参照してください。

インストールとアップグレード

インストールとアップグレードに関する『インストール・ガイド』への追加および訂正、または重要事項の最新情報を示します。

Sybase Control Center のインストールの詳細については、『Sybase Control Center インストール・ガイド』を参照してください。

Sybase Control Center 3.2.7 のインストールと実装

設定と使用方法のガイドラインが守られていない場合、パフォーマンスに影響が出ることがあります。たとえば、UI エラーが表示されたり、収集が失敗したりすることがあります。

インストール：

十分なパフォーマンスを確保するには、Sybase Control Center サーバとして、2 つ以上の 2.4GHz プロセッサと、4GB の RAM を持つマシンを選択します。

実装：

インストールとアップグレード

- リソース – 単一の SCC サーバでモニタするリソースは、100 以下にします。より多くのリソースをモニタするには、複数の SCC サーバ間でリソースを分散し、各 SCC サーバを別々のマシン上で実行します。
- 収集ジョブ – 管理される各リソースの収集タイプごとに 1 つの収集のみを設定します。製品モジュールのオンライン・ヘルプで、[Configure] > [Setting Up Statistics Collection] を参照します。

注意： 収集ジョブの一部は、リソースの認証時にデフォルトで作成されます。オンライン・ヘルプで以下を参照してください。

- [Sybase Control Center for Adaptive Server[®] Enterprise] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Adaptive Server Data Collections]
 - [Sybase Control Center for Replication] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Replication Data Collections]
 - [Sybase Control Center for Data Assurance] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Data Collections for Replication Server Data Assurance Option]
 - [Sybase Control Center for Sybase IQ] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Sybase IQ Data Collections]
-
- ユーザ – Sybase Control Center に同時にログインするユーザは、10 人以下にします。
 - リポジトリ – 定期バックアップの中にパージを組み込んでいないかぎり、パージをオフにしないでください。デフォルトでは、パージはオンになっており、毎日実行されるように設定されています。オンライン・ヘルプで、リポジトリの定期バックアップと、リポジトリのパージ設定に関するトピックを参照してください。

サポートされているサーバのバージョン

Sybase Control Center (SCC) を使用した管理とモニタをサポートするサーバのバージョンは、次のとおりです。

管理対象サーバまたはエージェント	バージョン
Adaptive Server	ノンクラスタード Adaptive Server、モニタリングと管理：15.0.2 以降 ノンクラスタード Adaptive Server、Sybase Control Center for Replication の RepAgent スレッドのみをモニタリング：12.5.4 以降 Adaptive Server Cluster Edition、モニタリングと管理：15.0.3 以降

管理対象サーバまたはエージェント	バージョン
Data Assurance	15.7.1
レプリケーション製品	Replication Server [®] : 12.6 以降 Replication Agent [™] : 15.0 以降 Mirror Replication Agent : 15.0 以降
Sybase [®] IQ	モニタリング : 15.1 ESD #2.1 以降 管理 : 15.3 以降

サポートされている製品モジュールとリリース済みのマニュアル

このリリースの Sybase Control Center の製品モジュールと、リリース済みマニュアルのバージョンについて説明します。

最新の製品モジュールは、次のとおりです。SCC は、前のバージョンもサポートしています。

次のリストを使用して、ご使用の SCC 製品モジュールが最新バージョンかどうかを確認してください。更新された最新の製品モジュール・プラグインは、downloads.sybase.com からダウンロードできます。

Sybase Control Center 3.2.7 でサポートされている製品モジュール
Sybase Control Center for Adaptive Server Enterprise 3.2.7
Sybase Control Center for Data Assurance 3.2.6
Sybase Control Center for Replication 3.2.6
Sybase Control Center for Sybase IQ 3.2.3 ESD1

このリストを使用して、適切なリリース・ノートとインストール・ガイド製品マニュアル Web サイト (sybooks.sybase.com) を判断してください。

Sybase Control Center 3.2.7 のリリース済みマニュアル
リリース・ノート : Sybase Control Center 3.2.7 (このマニュアル)
『Sybase Control Center 3.2.7 インストール・ガイド』

注意： Web サイト上のマニュアルは、改訂されることがあります。マニュアルが更新されていないかどうかを定期的に確認することをおすすめします。

既知の問題

Sybase Control Center に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

インストール、アップグレードと配備に関する既知の問題

Sybase Control Center のインストール、アップグレード、および配備に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
711014	<p>Sybase Control Center に付属する PAM (Pluggable Authentication Module) 設定ファイル (sybase-csi) は、Linux RedHat 6.0 をサポートしていない。</p> <p>対処方法： 次のものを格納する sybase-csi ファイルを作成します。</p> <pre>auth include system-auth account include system-auth password include system-auth session include system-auth</pre> <p>sybase-csi ファイルの詳細については、SCC オンライン・ヘルプの [Get Started] > [Setting Up Security] > [Configuring a Pluggable Authentication Module (PAM) for UNIX] を参照します。</p>
698297	<p>SCC は新しいリリースから古いリリースへのダウングレードがサポートされない。</p> <p>対処方法： SCC アップグレードをロール・バックする機能が必要な場合は、アップグレードの前に SCC インストール・ディレクトリ (SCC-3_2、SCC-3_1、または SCC-3_0) をバックアップします。</p>

変更要求番号	説明
677805	<p>2 番目の SCC サーバ・インスタンスを同じホストに配備できない。</p> <p>agent.log にエラーが表示されます。</p> <pre>2011-07-14 16:39:21,131 [ERROR] [asa.ASAInstanceManagerService] [Agent Bootstrap Thread] - com.sybase.ua.service. AgentServiceException: Failed to start database engine com.sybase.ua.services.asa.ASAEngine\$InvalidConnectionException: The connection to scc_repository is not valid. The file location /net/hmoconc/omni/cisqa/skibba/sccinstance_test/sybase/SCC-3_2/ instances/sccnhrh564d. sybase.com/services/Repository/scc_repository.db does not match the file location specified in the service-config.xml (/net/hmoconc/omni/cisqa/skibba/sccin- stance_test/sybase/SCC- 3_2/instances/instance2/services/Repository/scc_repository.db). This may indicate that another SCC repository server is running from a different installation directory and the connection is being made to the wrong server instance. Check to make sure any SCC repository servers running on the network each have a unique server name and tcp port.</pre> <p>インスタンスのいずれかが SCC エージェントである場合、この問題は発生しません。これは、一般的なシナリオです。</p> <p>対処方法： 運用環境の 1 台のホスト・コンピュータ上での複数の SCC サーバ・インスタンスの実行は推奨しません。テスト環境または開発環境で 2 番目のサーバ・インスタンスを有効にするには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 番目の SCC サーバ・インスタンスで、このファイルを開きます。 <code>SCC-3_2/instances/<instance2>/services/SccSADataserver/service-config.xml</code> この行を見つけます。 <code><set-property property="com.sybase.asa.server.name" value="scc_repository" /></code> scc_repository を scc_repository2 または scc_repository_instancename などの別のものに変更します。 現在使用されている SCC ポートを調べるには、次のように入力します。 <code>scc --info ports</code> scc --ports コマンドを使用して第 2 の SCC インスタンスのポートを再割り当てる方法については、オンライン・ヘルプの「Configuring Ports」を参照します。この 2 つのインスタンスは別のポートを使用する必要がある。

変更要求番号	説明
586837	<p>メモリ不足が原因で Sybase Control Center を起動できない。</p> <p>対処方法：メモリ調整方法の詳細は、SCC オンライン・ヘルプの [Get Started] > [Launching Sybase Control Center] > [Configuring Memory Usage] を参照してください。</p> <p>UNIX では、次のコマンドを SCC の起動前に実行するか、SCC-3_2/bin/scc.sh の先頭に追加することもできます。</p> <pre>ulimit -v 59326240</pre> <p>このコマンドは、Sybase Control Center が使用できる仮想メモリを増やします。</p>

Sybase Control Center の既知の問題

すべての製品モジュールに存在する Sybase Control Center コア機能の既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
697145	<p>Sybase Control Center レポジトリのインクリメンタル・バックアップを使用してデータベースをリカバリできない。</p> <p>対処方法：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SCC を停止します。 2. テキスト・エディタでこのファイルを開きます。SCC-3_2/services/SccSADataserver/service-config.xml. 3. 次の行を削除する。 <pre><set-property property="com.sybase.asa.database.options" value="-m" /></pre> 4. 変更を保存して SCC を起動します。 <p>この変更後に実行されたインクリメンタル・バックアップを使用すると、レポジトリ・データベースをリストアできます。</p>
618904	<p>Windows Vista で Sybase Control Center にログインすると、不正な証明書に対する SSL ハンドシェイク例外がエージェント・ログに表示される。</p> <p>対処方法：この例外は無視してもかまいません。</p>

変更要求番号	説明
587717	<p>図表の配置に関係なく、モニタリング・ビューおよび統計の図表に表示されるデータチップがブラウザ画面の固定位置に表示される。画面上で図表を移動しても、データチップは連動しない。</p> <p>(データヒントとは、グラフまたはチャート上の特定のスポットのデータ値を表示するツールチップで、そのスポット上にカーソルを置くと表示されます。) データヒントは、すべての製品モジュール・プラグインで表示されます。</p> <p>対処方法: なし。これは、Adobe Flex SDK の問題です。</p>
576129	<p>[F5] キーを押してブラウザをリフレッシュすると、Sybase Control Center からログアウトされる。</p> <p>ブラウザを再表示しても、Sybase Control Center 内のデータは更新されず、ブラウザにロードされたアプリケーションまたはページが更新されます。この場合、Sybase Control Center の基盤となっている Adobe Flash が更新されます。このため、[F5] キーを押すと、Sybase Control Center を含む、現在ログイン中のすべてのサーバからログアウトすることになります。</p> <p>対処方法: Sybase Control Center にログインしているときは、[F5] キーを使用しないでください。</p>
560601	<p>IPv6 フォーマットを使用している場合、Sybase Control Center HTTP のリダイレクトに失敗するため、ログインできない。</p> <p>Sybase Control Center の IPv6 HTTP URL を使用すると、本来ならば HTTPS にリダイレクトされますが、リダイレクトされません。たとえば、次の URL は機能しません。</p> <p><code>http://myscc64.v6:8282/scc</code></p> <p>対処方法: HTTPS フォーマットおよびポートが指定された URL を使用し、IPv6 ネットワークで SCC に接続します。次に例を示します。</p> <p><code>https://myscc64.v6:8283/scc</code></p>

Adaptive Server に関する既知の問題

Sybase Control Center for Adaptive Server に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
712447	<p>Sybase Control Center Monitor で、データ・キャッシュ・コンテキスト・メニューまたは [Caches] 画面の [Add Buffer Pool] をクリックしても、何も機能しない。</p> <p>対処方法: Sybase Control Center 管理コンソールの [Cache Property] 画面の [Add Buffer Pool] を使用します。</p>
712308	<p>– Adaptive Server version 15.5 ESD #2 クラスタのみ：新規ノードの新規インスタンスを削除できない。</p> <p>そうすると、次のエラーが発生する。</p> <p>Drop instance error:7</p> <p>対処方法: インスタンスの削除には、sybcluster を使用します。</p>
712287	<p>一部の状況で、[Adaptive Server Monitor Threads] 画面を開くと、数値オーバーフロー・エラーが発生して、Sybase Control Center 内および Sybase Control Center agent.log ファイルで報告される。</p> <p>これは、monThread テーブルの行の TaskRuns カラムの値が特定のスレッドについて 2147483647 を超えていることが原因で発生する。</p> <p>対処方法: Adaptive Server を停止してから再起動して、TaskRuns カラムの値をリセットします。</p>
710398	<p>Sybase Control Center 管理コンソールを使用して Adaptive Server クラスタの新規インスタンスを作成した後に、この新規インスタンスのステータスが正しく表示されず、このインスタンスの [Context] メニューのすべてのオプションが無効化される。</p> <p>これはすべての状況で発生するわけではない間欠的な問題である。</p> <p>対処方法: sybcluster ユーティリティを使用して新規インスタンスを起動します。</p>

変更要求番号	説明
695138	<p>Sybase Control Center で、古いバージョンの Unified Agent のデフォルト・パスワードを使用すると、Adapter Server 15.5.x とともにインストールされた Unified Agent (Unified Agent 2.5) で認証されない。</p> <p>表示されるエラー・メッセージ：</p> <pre>User 'uafadmin' failed to authenticate with server 'ASE155x' agent.Login failed:No successful loginmodules.Please check credentials.</pre> <p>対処方法： Unified Agent の認証には、新しいデフォルト・パスワードである Sybase4me を使用します。デフォルトのパスワードは直ちに変更することをお勧めします。</p>
690795	<p>カーネル・モードを変更し、Adaptive Server を再起動した後、Sybase Control Center のモニタ・ビューが正常に更新されない場合や、カーネルが変更されたことが正常に表示されない場合がある。</p> <p>Sybase Control Center の [Configuration] 画面でカーネル・モードをスレッド・モードとプロセス・モードの間で変更し、サーバを再起動しても、モニタ・ビューが正常に更新されない場合や、プロセス・モードに変更した後もスレッドが表示されたままになる場合があります。</p> <p>対処方法： Adaptive Server 15.7 以降でサーバ・カーネル・モードを変更したときは、このリソースがモニタ・ビューに正常に表示されるようにするため、次の手順の実行が必要な場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モニタ・ダイアログ・ビューを閉じます。 2. Adaptive Server を再起動します。 3. サーバをクリアして再認証します。 4. モニタ・ビューを開いてリソースを表示します。

変更要求番号	説明
618901	<p>Adaptive Server 15.5 以前の Unified Agent の認証が Windows で失敗する。</p> <p>Adaptive Server を管理している Unified Agent を使用して Sybase Control Center を認証しようとすると、次のすべての条件が当てはまる場合、失敗します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Adaptive Server バージョンが 15.5 以前である。 • Adaptive Server が 32 ビットまたは 64 ビットの Windows プラットフォームで実行されている。 • Unified Agent が NT ログイン・モジュールを使用するように設定されている。 • Windows のログインとパスワードを使用して認証を試みた。 <p>対処方法： Adaptive Server バージョン 15.5 ESD #1 以降にアップグレードします。</p> <p>Adaptive Server 15.5 GA では、Unified Agent の簡易ログイン・モジュールを使用して、Unified Agent のインストールごとにログインおよびパスワードのローカル・リストを維持します。簡易ログイン・モジュールを使用する場合は、Unified Agent のインストールの一部である passencrypt ユーティリティを使用して、パスワード値を暗号化する必要があります。</p>
616855	<p>中国語の文字セットを使用するように設定されている Adaptive Server のデバイスの割り付け情報が英語ではなく中国語で表示される。</p> <p>割り付け情報を表示するには、Adaptive Server Monitor でデータベースを選択し、[Devices Used] タブをクリックします。</p> <p>対処方法：なし。</p>
613300	<p>管理対象の Adaptive Server リソースが使用できない場合に、Sybase Control Center のコンソールにエラーが報告される。</p> <p>対処方法：エラー・メッセージが反復的に表示されないようにするには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューで、Adaptive Server リソースを選択し、右側に表示されるドロップダウン矢印をクリックします。 2. [Properties] を選択します。 3. [Collection Jobs] を選択します。 4. リストされたすべてのジョブを選択します。 5. [Suspend] をクリックして、Adaptive Server リソースのすべての収集をサスペンドします。 6. Adaptive Server リソースが使用可能になったときに収集を開始するには、[Resume] をクリックします。

変更要求番号	説明
596022	<p>フェールオーバ・オペレーションがクラスタで発生しているときに、Adaptive Server クラスタの Adaptive Server Monitor の画面が応答しない場合がある。</p> <p>対処方法：なし。</p>
589902	<p>一部の状況で、Sybase Control Center で、クラスタ設定のセグメントによって使用されている領域のサイズと量の値が正しく表示されないことがある。</p> <p>これは Adaptive Server Monitor の [Segments] 画面の [Details] タブに表示されるデータと図表に影響を与えます。</p> <p>対処方法：なし。</p>

Data Assurance に関する既知の問題

Sybase Control Center for Data Assurance に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
696767	<p>Sybase Control Center の [Properties] ダイアログ ([Application] > [Administration] > [General Settings] > [Administration Console]) の管理コンソール・オプションを使用すると、データ検索のタイムアウトとロー・カウントのスレッシュホールドを設定できる。これらの設定が、Sybase Control Center for Data Assurance に作用しない。</p> <p>対処方法：なし。</p>
670225	<p>Data Assurance または Sybase Control Center で作成したオブジェクト名を変更できない。</p> <p>オブジェクトには、エージェント接続、データベース接続、compareset、およびジョブが含まれています。</p> <p>対処方法： 任意の名前を付けて新しいオブジェクトを作成し、古いオブジェクトを削除します。</p>

Replication に関する既知の問題

Sybase Control Center for Replication に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
712718	<p>15.7 の環境で、ルートがないという SQL Anywhere® エラーが発生する。</p> <p>ルートが存在しない場合、rs_helproute RSSD ストアド・プロシージャから結果セットが返されない。現在の Sybase Control Center for Replication 機能では、結果セットを使用して準備文が閉じられる。結果セットが null であるため、準備文が開いたままになり、最終的に次のエラーが発生する。SQL Anywhere Error -685: '準備文' のリソースガバナーが制限を超えています。</p> <p>SQL Anywhere のデフォルト設定では、同時に開くことができる準備文は最大で 50 である。SCC for Replication のコレクションが 50 を超えるとこのエラーが発生し、Replication コレクションでエラーが発生する。</p> <p>対処方法： ルートが存在しないため、単独の 15.7 Replication Server 環境ではこのエラーへの対処方法はありません。準備文の最大数を増やすことはできますが、問題の発生を先送りするにすぎません。</p>
704647	<p>ヒート・チャートに Replication Server のアラートの変化のステータスが正しく表示されないことがある。</p> <p>対処方法： Alert Monitor を使用して、正しいステータスを調べます。Alert Monitor を開くには、[View] > [Open] > [Alert Monitor] を選択します。</p>
704458	<p>[Perspective Resources] ビューにタイプ Path MO のリソースが表示される。</p> <p>Path MO リソースは、[Replication Server Monitor] > [Paths] を選択してパス名リンクをクリックしたときに作成される。</p> <p>対処方法： Path MO リソースは問題を発生しないため、無視しても、観点から削除してもかまいません。</p>

変更要求番号	説明
697776	<p>代替接続を使用すると、[Replication Path Dashboard] の Adaptive Server RepAgent 送信者スレッドにデータが表示されません。</p> <p>対処方法： 新規 Adaptiver Server MDA 表へのクエリを実行して、新規 RepAgent 送信者の統計を取得します。新規 MDA テーブルは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • monRepLogActivity • monRepScanners • monRepScannersTotalTime • monRepSenders
696767	<p>Sybase Control Center の [Properties] ダイアログ ([Application] > [Administration] > [General Settings] > [Administration Console]) の管理コンソール・オプションを使用すると、データ検索のタイムアウトとロー・カウントのスレッシュホールドを設定できる。これらの設定が、Sybase Control Center for Replication に作用しない。</p> <p>対処方法： なし。</p>
696166	<p>[Adaptive Server Monitor Replication Agent] タブに RepAgent スレッド送信者接続名が表示されません。ただし、各 RepAgent の制御 Replication Server のリストは表示されます。</p> <p>対処方法： 制御 Replication Server それぞれの [Replication Server Monitor Connections] タブを開きます。Adaptive Server RepAgent の接続名が表示されます。また、Replication Server にログインして、admin who コマンドを使用しても、この情報を取得できます。</p> <p>[Replication Server Monitor Connections] にアクセスするには、次のようにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューから、制御 Replication Server を選択して、[Resource] > [Monitor] をクリックします。 2. [Connections] をクリックします。
687149	<p>Sybase Control Center for Replication に一部の Replication Server 15.7.1 設定パラメータの記述がない。</p> <p>対処方法： 記述のないパラメータの詳細については、『Replication Server 15.7.1 リファレンス・マニュアル』を参照してください。このマニュアルは、製品マニュアル Web サイト (sybooks.sybase.com) で入手できます。</p>
686837	<p>[Replication Path] ダッシュボードに中間 Replication Server のキュー・グラフがない。</p> <p>[Path] ダッシュボードを開くと、ASE Replication Agent のスレッドが常にゼロと表示されます。</p> <p>対処方法： Adaptive Server Enterprise をバージョン 15.0.3 以降にアップグレードします。</p>

変更要求番号	説明
619385	<p>遅延時間のモニタリング履歴の表のスタックされたカラムにギャップが表示されることがある。</p> <p>遅延時間モニタリング履歴チャートへのデータの読み込み時にアクセスできるのは、遅延時間モニタリング収集の開始時刻と終了時刻のみです。2つ以上の rs_ticket が収集されている場合、両方のチケットについて、チャート内で1つの時刻のみ、つまり1つの縦棒のみが報告されます。これが、積み上げ縦棒内で空白のように見えます。</p> <p>対処方法：なし。</p>
619382	<p>ASE 以外のレプリケート・データベースから遅延時間を取得することができない。</p> <p>Sybase Control Center は、次の2通りの方法で遅延をモニタします。第1の方法は、レプリケート・データベースにある rs_lastcommit テーブルを読み込む方法です (デフォルト)。第2の方法は、レプリケート・データベースにある rs_ticket_history テーブルを読み込む方法です (設定が必要です)。遅延モニタリングで rs_ticket_history テーブルを使用すると、Sybase 以外のレプリケート・データベースへの接続情報を設定できます。しかし、rs_lastcommit を使用するデフォルトの遅延モニタリングでは、Sybase 以外のレプリケート・データベースへの接続情報を設定できません。したがって、Sybase Control Center は、Sybase 以外のレプリケート・データベースの rs_lastcommit テーブルにアクセスできません。このため、遅延時間チャートに、遅延時間がゼロと表示されます。以上のことは、[Path] ダッシュボードの遅延時間チャートにも当てはまります。</p> <p>対処方法： Sybase 以外のレプリケート・データベースの遅延時間をモニタするには、遅延時間のモニタリングを設定して使用します。詳細については、『Sybase Control Center インストール・ガイド』を参照してください。</p>
617051	<p>遅延時間のモニタ・プロセスが完了しても、ステータスが自動的に更新されない。</p> <p>遅延時間のモニタ・プロセスの完了後も、[Monitor] > [Paths] ビューにはそのステータスが引き続き [Running] と表示される。</p> <p>対処方法： パスのステータスをリフレッシュするには、ウィンドウ枠内で他の任意の場所をクリックして、フォーカスをパスからいったんはずしてから、パスを再度クリックします。</p>

変更要求番号	説明
616460	<p>トポロジ・ビューの接続矢印が、正しく定義された接続によって異なる。</p> <p>トポロジで接続矢印が指す方向は、Replication Server 接続の定義方法によって異なります。プライマリ接続の定義が、Sybase 以外のデータ・ターゲットへの複製専用の接続に使用される場合、Replication Server と Sybase 以外のデータ・ターゲットの間の接続矢印が間違った方向を指している (ターゲットを指しているのではなく、ターゲットから指している) 可能性があります。</p> <p>対処方法: Sybase 以外のレプリケート・データベースへの Replication Server 接続の定義を作成する際は、プライマリ接続定義の作成に使用される with log transfer 句を省略します。</p>
614419	<p>1つの Replication Server が停止すると、複数のエラー・メッセージが表示される。</p> <p>モニタされている Replication Server が停止すると、複数のエラー・メッセージが agent.log に記録されます。正しいエラー・メッセージがモニタされているすべての Replication Server によって報告されるため、エラー・メッセージがその他の Replication Server から送信されている可能性があります。</p> <p>対処方法: なし。</p>
611190	<p>複製モードのときに [Quick Admin] ビューで Replication Agent パラメータを設定すると、変更が正しく適用されていない場合でも [Show changes applied this session] を選択すると変更が表示される。</p> <p>対処方法: なし。</p>
611023	<p>空の値が有効である場合も、pdb_xlog_device パラメータに空の値を設定すると、Replication Agent の [Quick Admin] ビューに無効であると表示される。</p> <p>対処方法: なし。</p>
578836	<p>複製アクセス・ライブラリのストアド・プロシージャを Replication Server システム・データベース (RSSD) から削除すると、Replication Server のデータ収集に失敗します。</p> <p>対処方法: Sybase Control Center への Replication Server の登録をいったん解除してから、再登録します。</p>
565911	<p>[Path] ダッシュボードを開くと、RepAgent スレッド・グラフは表示されません。</p> <p>対処方法: Replication Server では大文字と小文字が区別されます。Adaptive Server 名、接続名、およびルート名は、大文字と小文字を含め、一致する必要があります。大文字と小文字が異なる場合、Adaptive Server を登録解除し、大文字と小文字を正しく使用して再登録します。</p>

既知の問題

変更要求番号	説明
563885	<p>複写の登録がある Adaptive Server を右クリックしても、[Launch Statistics Chart] オプションが表示されない。</p> <p>対処方法：なし。</p>
562600	<p>Replication Server のデータ収集ジョブで、[Repeat once] オプションと [Repeat indefinitely] オプションを使用できない。</p> <p>これらのオプションのいずれかを選択すると、ジョブは作成されますが、SCC は統計値を収集しません。SCC は、SCC コンソールとログ・ファイルにエラー・メッセージを書き込みます。</p> <p>対処方法：収集ジョブのオプションを [Repeat until] に変更して、ジョブが特定の回数だけ実行されるようにします。</p>
559160	<p>Replication Server のパフォーマンス統計の収集は、Replication Server 12.6 および 15.0 をサポートしていない。</p> <p>バージョン 12.6 と 15.0 のモニタ・インタフェースおよびカウンタ・インタフェースは、Replication Server 15.0.1 以降のインタフェースと異なります。</p> <p>対処方法：なし。</p>

Sybase IQ に関する既知の問題

Sybase Control Center for Sybase IQ に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
696767	<p>Sybase Control Center の [Properties] ダイアログ ([Application] > [Administration] > [General Settings] > [Administration Console]) の管理コンソール・オプションを使用すると、データ検索のタイムアウトとロー・カウントのスレッシュホールドを設定できる。これらの設定が、Sybase Control Center for Sybase IQ に作用しない。</p> <p>対処方法：なし。</p>

変更 要求 番号	説明
686989	<p>Group フォルダの Manage Members および Manage Parent Groups と、Users フォルダの Manage Parent Groups で、[Shift] キーを押したままクリックして複数のユーザを追加できない。</p> <p>選択したユーザが強調表示され、右側のウィンドウ枠に移動されるが、[OK] をクリックするとダイアログが閉じ、ユーザは追加されない。[Shift] キーを押しながらクリックすると、ユーザをグループから削除したり、グループを親グループから削除できる。</p> <p>対処方法： 複数のユーザを追加するには、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。</p>
686963	<p>[Server Properties] を使用してサーバの設定を変更し、さらに、[Request Logging] または [Options] ページも変更を加えると、サーバの設定プロセスは実行されるが、追加の変更は行われない。</p> <p>対処方法： 個別のページから [Server Properties] の変更を実行し、ページごとに[OK] をクリックします。</p>
685207	<p>[INC Properties] ダイアログで、マルチプレックス・セカンダリ・サーバの Liveness Timeout 値が、常に 0 秒と表示される。</p> <p>値をデフォルト (120 秒) のままにしている場合や、設定エディタで値を設定して再起動した場合も、[INC Properties] ダイアログには Liveness Timeout が 0 秒と表示されます。サーバ上では値は正しく、表示のみが間違っています。</p> <p>対処方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sybase Central™ を使用すると、値が正しく表示されます。または • SCC 管理コンソールで、次の手順に従います。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 左ウィンドウ枠で、[IQ Servers] > [Multiplex Management] を展開し、[Multiplex Servers] を選択します。 2. 右側のウィンドウ枠で、サーバを選択し、右側に表示されるドロップダウンの矢印をクリックします。 3. [Properties] を選択します。 4. [Properties] ダイアログの左ウィンドウ枠で、[Server Properties] をクリックします。 5. 右ウィンドウ枠で、[Name] カラムの上のフィルタ・フィールドに liv と入力します。これにより、Liveness Timeout 以外のすべてのプロパティがフィルタされます。

変更 要求 番号	説明
676665	<p>データベースの場所を変更し、サーバを再起動した後で、元の場所に戻そうとすると、サーバが起動しなくなる。</p> <p>起動できないのは、新しいロケーションに変更したときに、古いデータベース・ファイルがそのまま残っているためです。古いロケーションに戻すと、サーバは古いファイルを検出します。</p> <p>データベース・ロケーションへのパスの確認と変更を行うには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理コンソールで、[IQ Servers] を選択します。 2. 右側のウィンドウ枠でサーバを選択し、サーバ名の横に表示されるドロップダウンの矢印をクリックします。 3. [Properties] を選択します。 4. [Properties] ダイアログの左ウィンドウ枠で、[Server Properties] を選択します。 <p>対処方法：古いロケーションに戻す前に、db、iqmsg、.lmp ファイルを元のロケーションから削除します。存在する場合は、params.cfg、start_server.sh と stop_server.sh も削除します。</p> <hr/> <p>注意：その他のファイルは削除しません。iq ファイル、.iqtmp ファイル、.log ファイルは削除しないように、特に注意します。これらのファイルを削除すると、サーバを起動できなくなります。</p>
676218	<p>管理コンソールの [Dbospace Properties] ダイアログで dbospace プロパティを変更すると、[DB Files Properties] ダイアログに伝達されるはずなのに、自動的に伝達されない。</p> <p>対処方法：[Dbospace Properties] ダイアログでの変更が [DB Files Properties] ダイアログに反映されない場合は、次のようにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [DB File Properties] ダイアログを閉じます。 2. 管理コンソールの左ウィンドウ枠で、[DB Files] をクリックします。 3. [Folder] メニューで、[Refresh] を選択します。 4. 右ウィンドウ枠で dbfile を選択し、ドロップダウン矢印をクリックして、[Properties] を選択します。
676076	<p>設定ファイル・エディタの [Debug] ページで、[Debug Level] ドロップダウンに、"other"、"procedures"、"triggers"、"plan"、"hostvars"、"replace"、"blocks" の各ログ・レベルが表示されない。</p> <p>対処方法：デバッグ・レベルを表示されないレベルのいずれかに設定するには、データベース・ディレクトリの params.cfg ファイルの -zr スイッチを設定します。複数のレベルを含めることができます。次に例を示します。-zr procedures, triggers, plans.</p>

変更 要求 番号	説明
676079	<p>設定ファイル・エディタで、[Maximum Output File Size] のデフォルトにキロバイトが使用されている。MB または GB を指定する方法がない。</p> <p>対処方法：データベース・ディレクトリのparams.cfg ファイルで、-zs スイッチを使用して値を設定します。数値の後に K、M または G を使用します。次に例を示します。-zs 4000K、-zs 240M、または -zs 30G のいずれかです。</p>
670173	<p>[Database Options]、[Group Options]、[User Options] の各ダイアログで、Sybase Central で提供されているアクションである[Create Options]、[Remove Options]、[Mark Options as Permanent] を実行できない。</p> <p>対処方法：Sybase Central でオプションを設定します。</p>
669571	<p>管理コンソールの [Execute SQL] ウィンドウで、返される結果がない正常完了クエリ of ステータスが表示されない。</p> <p>Interactive SQL のユーザは、Execution time: 0.01 seconds のようなメッセージを想定している。</p> <p>対処方法：なし。</p>
662776	<p>[Create Dbspace] ウィザードで、マルチプレックス・リーダーから dbspace を不正に作成できる。</p> <p>作成される DB 領域は有効です。</p> <p>対処方法：なし。</p>
667667	<p>Sybase Control Center に登録されている Sybase IQ シンプルックス・サーバを SCC、Sybase Central、またはコマンド・ラインの別のインスタンスを使用してマルチプレックス・サーバに変換すると、現在の SCC で変換が検出されず、サーバが引き続きシンプルックスとして表示される。</p> <p>対処方法：シンプルックス・リソースを認証しなおして SCC にマルチプレックスとして表示されるようにします。</p>
666382	<p>特に、リソースがマルチプレックスである場合、認証に長時間を要することがある。</p> <p>場合によって、[Authentication] ダイアログが終了しないことがあります。</p> <p>対処方法：[OK] をクリックした後に、いつでも [Cancel] をクリックして [Authentication] ダイアログの表示を安全に消すことができます。</p>
651730	<p>IQ Multiplex Level Monitor のトポロジ・マップが開いているときに Sybase Control Center または Sybase Central で Sybase IQ サーバの名前を変更した場合、名前の変更がトポロジ・マップに反映されない。</p> <p>対処方法：IQ Multiplex Level Monitor をいったん閉じてから、再び開きます。</p>

変更 要求 番号	説明
640584	<p>Sybase IQ サーバを認証する場合、Sybase IQ の sysuser テーブルでの定義と同じ大文字と小文字で Sybase Control Center にユーザ ID を入力します。</p> <p>大文字と小文字の違いがあっても、SCC はサーバを認証します。たとえば、sysuser には DBA と入力されていても、dba として認証できます。ただし、管理コンソールで変更を加えることはできません。</p> <p>対処方法：なし。</p>

アクセシビリティに関する既知の問題

Sybase Control Center のアクセシビリティに関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要 求番号	説明
648803	<p>[Perspective Resources] ビューのローの場合、NVDA スクリーン・リーダが誤ったデータを読み上げる。</p> <p>対処法：なし。</p>
616081	<p>インストール時に、カスタマイズした表示設定が継承されない。</p> <p>Sybase Control Center のインストーラのダイアログでは、表示に関連する次のカスタマイズは継承されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザが大きなフォントを選択していても、インストーラのメッセージのフォント・サイズには反映されません。インストーラのメッセージのフォント・サイズは同じままです。 ナレータ・スクリーンリーダ・アプリケーションは、ウィザード・ページ、ヘッダ、入力された文字を読み上げますが、ウィンドウ内の情報、ライセンス契約、またはメニューは読み上げません。 ハイ・コントラスト設定と色設定は、インストーラのメッセージ、ヘッダ、メニュー、ボタンに反映されますが、メイン・ウィザードのウィンドウ枠の背景色には反映されません。ウィザードのウィンドウ枠の背景色がハイ・コントラスト・モードに変更されないため、一部のメッセージが読めなくなります。 <p>対処法：コンソール・モードを使用して Sybase Control Center をインストールします。</p>
615280	<p>マウスで項目をクリックするときに、フォーカスが示されないことがある。</p> <p>対処法：なし。</p>

変更要求番号	説明
615036	<p>Collection Job ウィザードで一部のキーを使用すると、収集テーブルから隣のウィンドウ枠に移動してしまう。</p> <p>収集テーブルからフォーカスを移動してしまうキーは、[Page Up]、[Page Down]、[Home]、[End] キーと矢印キーです。</p> <p>対処法：[Tab] キーを押して、フォーカスを収集テーブルに戻します。</p>
614800	<p>Adaptive Server のビュー、画面、またはタブ上で、キーボードから右クリックのコンテキスト・メニューにフォーカスを移して、バッファ・プールの拡張、サイズ変更、または追加を行うことができない。</p> <p>対処法：マウスを使用してフォーカスを移します。</p>
614618	<p>システム・フォントやフォントの色を変更しても、Sybase Control Center に反映されない。</p> <p>対処法：なし。これは Adobe Flex の問題です。</p>
614246	<p>Sybase Control Center ウィンドウで最小化、最大化、サイズ変更を行うコントロールのテキストをポイントしても、スクリーン・リーダによって読み上げられない。</p> <p>対処法：なし。</p>
614243	<p>チャートの内容が、スクリーン・リーダによって読み上げられない。</p> <p>対処法：表によっては、表のデータを含んでいる [Data] タブがあります。このデータをスクリーン・リーダで読み取ることはできません。</p>
614023	<p>[Ctrl] キーを押しながら [+] キーや [-] キーを押しても、フォント・サイズが変わらない。</p> <p>対処法：[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら、[+] キーや [-] キーを使用して、フォント・サイズを変更します。</p>
611421	<p>Adaptive Server のビューまたは画面で、キーボードまたはスクリーン・リーダを使用して最小最大のアイコンにフォーカスできない。</p> <p>対処法：マウスを使用してフォーカスを移します。</p>
590271	<p>インストーラの UI：拡大鏡ユーティリティで、キーボードを使用したときにフォーカスが移らない。</p> <p>Windows のスクリーン拡大鏡では、InstallAnywhere インストール・ウィザード内でホット・キーや [Tab] キーを使用して移動しても、フォーカスが移りません。</p> <p>対処法：マウスを使用して、拡大鏡でフォーカスできるようにします。</p>

変更要求番号	説明
578870	すべてのウィンドウ間を [Tab] キーで移動できるが、フォーカスのあるウィンドウが一番手前に来ない。 対処法：[View] > [Select] > [<window>] を使用して、フォーカスのあるウィンドウを一番手前に表示します。
563523	Firefox ブラウザの場合、ログイン画面の [User Name] フィールドに [Tab] キーで移動できない。 対処法：Internet Explorer を使用してください。
562210	Adaptive Server のクライアント画面の一部のセクションにフォーカスできない。 対処法：なし。

マニュアルの変更

Sybase Control Center 3.2.7 で提供されるマニュアルに加えられた更新、訂正、内容について説明します。

Displaying the Versions of SCC Components (SCC コンポーネントのバージョンの表示)

この新しいトピックは、Sybase Control Center オンライン・ヘルプ(全製品モジュール)には反映されていません。

[About Sybase Control Center for ...] > [Displaying the Versions of SCC Components] を選択します。

Sybase Control Center にインストールされたコンポーネントとそのバージョンのリストを表示します。

SCC インストールの製品モジュールのバージョンをチェックして、インストールが最新の状態であるかどうかを確認します。SCC リリース・ノートには、使用可能な製品モジュール・バージョンが一覧表示されます。SCC リリース・ノートは、次の製品マニュアル Web サイトにあります。 <http://sybooks.sybase.com/sybooks/sybooks.xhtml?prodID=10680>

1. SCC にログインして、[Help] > [About Sybase Control Center] を選択します。
2. 製品モジュールのバージョン (管理エージェント・プラグインとしてリスト表示) と最新の『Sybase Control Center リリース・ノート』で公開されているバージョンを比較します。

Modifying a Resource's Name and Connection Properties (リソースの名前と接続プロパティの変更)

この新しいトピックは、Sybase Control Center オンライン・ヘルプ(全製品モジュール)には反映されていません。

[Manage and Monitor] > [Manage Sybase Control Center] > [Resources] > [Modifying a Resource's Name and Connection Properties] を選択します。

Sybase Control Center に登録したリソースのプロパティを変更します。

1. [Perspective Resources] ビューで、リソースを選択して、[Resource] > [Properties] を選択します。
2. (オプション) [General Properties] ページで、リソースの名前または説明を変更します。
大文字と小文字を使用して管理対象のサーバの実際の名前を入力する。Sybase Control Center に登録された名前が、サーバ名と完全一致しないと、トポロジ・ビューなどの一部のモニタ機能が機能しない。
3. (オプション) [Connection Information] ページで、次の変更を行います。
 - ホスト名
 - ポート番号
 - 管理対象リソースのその他のオプション
4. [OK] をクリック (変更内容を適用して、プロパティ・ダイアログを閉じる) するか、[Apply] をクリック (変更内容を適用して、ダイアログは閉じない) します。

SCC for Adaptive Server ヘルプ: Setting Parameters in the Configuration File (設定ファイルのパラメータの設定)

変更内容のいくつかは Sybase Control Center for Adaptive Server に付属するオンライン・ヘルプから欠落していましたが、製品マニュアル Web サイトのヘルプには記載されています。

Setting Adaptive Server Parameters in the Configuration File (設定ファイルでの Adaptive Server パラメータの設定) :

- このトピックは、[Configure] セクションから [Manage and Monitor] > [Manage Sybase Control Center] セクションに移動されています。設定時に、ここで説明されているパラメータを設定する必要はありません。
- このトピックには、次の「注意」が追加されています。

注意: 設定ファイルのパラメータを変更する際は、事前に Sybase サポート・センタに問い合わせることをおすすめします。

- 設定可能なパラメータの詳細はサブトピック「Configuration Parameters for Adaptive Server」を参照してください。

「Configuration Parameters for Adaptive Server」は、「Setting Adaptive Server Parameters in the Configuration File」のサブトピックです。

- このトピックは、上位トピックの「Setting Adaptive Server Parameters in the Configuration File」とともに [Configure] セクションから [Manage and Monitor] > [Manage Sybase Control Center] セクションに移動されています。
- **query_timeout** のデフォルト値は、600 秒に変更されました。
- パラメータに関する情報の一部がこのトピックから「Setting Adaptive Server Parameters in the Configuration File」に移動されています。
- このトピックは改訂が加えられ、デフォルト値を見つけやすくなりました。

SCC for DA ヘルプ : *SSL Support in Replication Server Data Assurance Option (Replication Server Data Assurance Option の SSL サポート)*

Replication Server Data Assurance (DA) Option 15.7.1 の SSL サポート機能に関するマニュアルは、Sybase Control Center for Data Assurance オンライン・ヘルプに含まれていません。Sybase Control Center for Data Assurance と DA サーバ間の RMI (Remote Method Invocation) 通信は、SSL (Secure Socket Layer) / TLS (Transport Layer Security) を使用して暗号化できます。

DA における SSL サポートの詳細については、[Replication Server Data Assurance Option 15.7.1] > [Users Guide] > [Security and Access Control] を参照してください。

SCC for Adaptive Server ヘルプ : *KPI Error Alert Flags (KPI エラー・アラート・フラグ)*

次の KPI エラー・アラート・フラグに関する情報は、Sybase Control Center for Adaptive Server に付属するオンライン・ヘルプから欠落していましたが、製品マニュアル Web サイトのヘルプには記載されています。

- クリティカル・フラグの最終コレクションの数
- エラー・フラグ数
- 情報フラグ数
- 警告フラグ数

SCC for Sybase IQ ヘルプ : *Keyboard Shortcuts (キーボード・ショートカット)*

この新しいトピックは、SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプには反映されていません。

[About Sybase Control Center for Sybase IQ] > [Keyboard Shortcuts] を選択します。

Sybase Control Center Web インタフェースで使用頻度の高いキー・シーケンスは次のとおりです。

キー・シーケンス	アクション
Ctrl-Alt-F12	一番上のビューまたは SCC メニュー・バーの最初のメニューのプル・ダウン。繰り返して使用すると、最初の 2 つのメニューの切り替えが行われます。
Ctrl-Alt-Shift-F12	SCC メニュー・バーの最初のメニュー (アプリケーション) のプル・ダウン。
Space	強調表示されたオプションの選択。マウスでのクリックに相当します。
ESC	<ul style="list-style-type: none"> ドロップ・ダウン・メニューの解放。 編集可能セルまたはフィールドの終了。 ウィンドウを閉じる。
矢印キー	<ul style="list-style-type: none"> 指示された方向の次の項目またはメニュー・オプションを強調表示します。たとえば下矢印キーは、メニュー内の次の項目を強調表示し、右矢印はメニュー内で右側にある項目を強調表示します。 ツリー構造では、右矢印によってノードが展開され、左矢印で圧縮されます。
タブ	<ul style="list-style-type: none"> ビュー内で、タブ順序に従って次の項目を強調表示します (タブ順序は、アクセス可能なフィールドを左上から順に、左から右、上から下に進みます)。 2 つのウィンドウ枠のビューで、左ウィンドウ枠のツリー階層から、右ウィンドウ枠にジャンプします。 表またはグリッド表示が含まれるビューで [Tab] キーを 2 回押すと、表が強調表示され、下矢印を押すと中に入ります。
Shift-Tab	<ul style="list-style-type: none"> ビュー内で、タブ順序に従って前の項目を強調表示します。 2 つのウィンドウ枠のビューで、右ウィンドウ枠から、左ウィンドウ枠のツリー階層に戻る。
Home	たとえば表内の 1 行目など、アクティブなビュー (またはビュー内のアクティブなセクション) の最初の項目を強調表示します。
終了	たとえば表内の最終行など、アクティブなビュー (またはビュー内のアクティブなセクション) の最後の項目を強調表示します。

キー・シーケンス	アクション
SCC メニュー・バーの、[View] > [Select] > [<各自のビュー>]	開いているビューを選択し、前面に表示します。
Ctrl-Alt- 矢印キー	選択したビューを指示した方向に移動します。
Ctrl-Alt +	表示テキストのサイズを拡大します。
Ctrl-Alt -	表示テキストのサイズを縮小します。
F11	ブラウザの全画面モードの有効と無効を切り替えます。
SCC メニュー・バーの、[Application] > [Display] > [Full Screen]	Sybase Control Center の全画面モードの有効と無効を切り替えます。

Sybase Control Center は Adobe Flex 上に構築されています。Adobe Flex のキーボード・ショートカットの完全な説明については、http://livedocs.adobe.com/flex/3/html/help.html?content=accessible_5.html を参照してください。

SCC for Sybase IQ ヘルプ: Configuring Memory Usage (メモリ使用量の設定)
 [Get Started] > [Launching Sybase Control Center] > [Configuring Memory Usage] 内のテーブルの最初の行に 4 回出現する「2GB」はすべて「4GB」に変更されています。この変更は、オンライン・ヘルプの 3.2.7 バージョンには反映されていません。

SCC for Sybase IQ ヘルプ: Logging in to Sybase Control Center (Sybase Control Center へのログイン)

[Get Started] > [Logging in to Sybase Control Center] トピックに次の追加がありますが、SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプには反映されていません。

1つのアカウントに同時に許可されるログイン・セッションは1つのみです。同じアカウントで複数のユーザが同時にログインすることはできません。

注意: 新たにインストールされた Sybase Control Center にセキュアな認証がまだ設定されていないときは、accadmin アカウントを使用します。パスワードはインストール時に設定されています。詳細については、『Sybase Control Center ユーティリティ・ガイド』を参照してください。

SCC for Sybase IQ ヘルプ：セキュリティ

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Security] トピックにはいくつかの変更が加えられていますが、SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプには反映されていません。

- ファイル名の変更
 - roles-map.xml は、role-mapping.xml に変更されています。
 - csi.properties は、csi_config.xml に変更されています。
- 簡易ログイン・モジュールは、事前設定ユーザ・ログイン・モジュールに置き換えられました。
事前設定ユーザ・ログイン - ユーザ名、パスワード、役割のリストを定義します。デフォルト・ユーザ名は sccadmin で、このパスワードはインストール時に設定されます。ネイティブの役割は SCC 管理者で、sccAdminRole にマッピングされています。事前構成ユーザ・ログイン・モジュールを csi_config.xml に追加することによって、追加のアカウントを作成できます。ただし、運用環境での認証では事前ユーザ・ログイン・モジュールの使用をおすすめしていません。
- NT プロキシ・ログイン・モジュールの説明の最後の文は、次のように置換されました。
Windows 認証はデフォルトで有効化されていますが、SCC 3.2.5 以前からのアップグレード後は、若干の設定作業が必要です。

SCC for Sybase IQ ヘルプ：Configuring Authentication for Windows (Windows の認証の設定)

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Configuring Authentication for Windows] のタスクはオプションになり、更新されていますが、この更新は SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプに反映されていません。次のように更新されています。

Windows オペレーティング・システムを利用する認証はデフォルトで有効化されています。古いバージョンの Sybase Control Center からアップグレードし、古いバージョンの認証設定を使用しない場合、認証に Windows を使用しない場合、ログイン・アカウントを手動で作成する場合のみ設定が必要です。Sybase では、SCC でアカウントを自動作成することをおすすめします。

このタスクは任意です。ただし、Sybase Control Center アカウントの自動作成を選択しない場合は、手動で入力する必要があります。LDAP やローカル・オペレーティング・システムを使用して SCC ユーザの認証を行う場合も、SCC で権限 (ユーザの権利) を設定するには、アカウントが必要です。

1. 管理者権限を持つアカウントを使用して Sybase Control Center にログインします (ログイン・アカウントまたはそのグループに sccAdminRole が必要です)。
2. [Application] > [Administration] > [Security] を選択します。

3. [Automatically add SCC login records for authenticated logins] のラベルが表示されたボックスをクリックして選択または選択解除します。
4. [Automatically grant sccUserRole to newly created logins] のラベルが表示されたボックスをクリックして選択または選択解除します。
5. [OK] を 2 回クリックして、[Security] ダイアログを閉じます。

Next

この後は 2 とおりの手順があります。

- Sybase Control Center ログイン・アカウントの自動作成を選択しなかった場合は、アカウントのそれぞれを Sybase Control Center に手動で入力します。
- 基本的なユーザ・アクセス以上の権限が必要な場合は、ログイン・アカウントに権限を付与します。権限を付与するには、Sybase Control Center の役割をログイン・アカウントに直接割り当てるか、ログイン・アカウントをグループに割り当て、Sybase Control Center の役割をそのグループにマッピングします。一般に、グループを使用する方法のほうが効率的です。

SCC for Sybase IQ ヘルプ: Configuring a Pluggable Authentication Module (PAM) for UNIX (UNIX での PAM (Pluggable Authentication Module) の設定)

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Configuring a Pluggable Authentication Module (PAM) for UNIX] のタスクは更新されていますが、この更新は SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプに反映されていません。次のように更新されています。

UNIX オペレーティング・システムのアカウントを使用して、ユーザ名とパスワードのログインを使用するように Sybase Control Center を設定します。

1. root 権限を持つログイン・アカウントを使用して、プラットフォームの PAM を設定します。

プラットフォーム	アクション
Solaris	<SCC-install-dir>/utility/<sunos>/pam.conf ファイル (Sybase Control Center に付属) の内容を Solaris プラットフォーム上の /etc/pam.conf ファイルに追加します。
Linux	<SCC-install-dir>/utility/<linux>/sybase-csi ファイル (Sybase Control Center に付属) を Linux プラットフォーム上の /etc/pam.d ディレクトリに直接コピーします。 注意: Sybase Control Center に付属の sybase-csi ファイルは、最新の SUSE Linux バージョンとの互換性がありません。SUSE 11 以降の場合は、このトピックの最後にある例を参照してください。

注意：上の表で、オペレーティング・システムを示すパスの部分は、ここで紹介したものと異なる場合があります。

2. ホストの UNIX システムがディレクトリ・ルックアップ認証 (yp、NIS など) 使用しておらず、認証がローカルの `/etc/passwd` ファイルに照らして実行される場合は、`/etc/shadow` のパーミッションを変更して、SCC を実行するログイン・アカウントに読み込みアクセスを付与します。
3. (Sybase Control Center の起動前に PAM を設定した場合は省略) Sybase Control Center を再起動します。
4. (オプション) アカウント作成オプションを変更します。
 - a. 管理者権限 (`sccAdminRole`) を持つアカウントを使用して、Sybase Control Center にログインします。
 - b. [Application] > [Administration] > [Security] を選択します。
 - c. [Automatically add SCC login records for authenticated logins] のラベルが表示されたボックスをクリックして選択または選択解除します (SCC 3.2.6 以降はこのオプションがデフォルトで有効化されています)。
 - d. [Automatically grant sccUserRole to newly created logins] のラベルが表示されたボックスをクリックして選択または選択解除します (SCC 3.2.6 以降はこのオプションがデフォルトで有効化されています)。
 - e. [OK] を 2 回クリックして、[Security] ダイアログを閉じます。

例：SUSE Linux 11 以降の PAM

SUSE 11 以降は、Sybase Control Center に付属している `sybase-csi` ファイルを使用しないでください。代わりに、`/etc/pam.d` ディレクトリで、次の記載がある `sybase-csi` ファイルを作成します。

```
# sybase-csi PAM Configuration (SUSE style)
auth        include      common-auth
account     include      common-account
password    include      common-password
session     include      common-session
```

Next

この後は 2 とおりの手順があります。

- Sybase Control Center ログイン・アカウントの自動作成を選択しなかった場合は、アカウントのそれぞれを Sybase Control Center に手動で入力します。Sybase Control Center で権限 (ユーザの権利) を設定するには、アカウントが必要です。
- 基本的なユーザ・アクセス以上の権限が必要な場合は、ログイン・アカウントに権限を付与します。権限を付与するには、Sybase Control Center の役割をログイン・アカウントに直接割り当てるか、ログイン・アカウントをグループに割

り当て、Sybase Control Center の役割をそのグループに割り当てます。一般に、グループを使用する方法のほうが効率的です。

SCC for Sybase IQ ヘルプ : *Configuring an LDAP Authentication Module (LDAP 認証モジュールの設定)*

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Configuring an LDAP Authentication Module] タスクへの更新は、Sybase IQ オンライン・ヘルプの SCC に反映されていません。このタスクは、次のように更新されています。

Sybase Control Center の LDAP 認証モジュールは、正しい LDAP サーバを指定するようにセキュリティ設定ファイルを編集して設定します。

1. <SCC-install-dir>\%conf%\csi_config.xml ファイルを開きます。
2. 囲んでいる<!-- と --> 文字を削除して設定ファイル内の LDAP モジュールのコメント化を解除します (または必要に応じて LDAP モジュールをファイルに追加します)。次のサンプル・モジュールでは、ユーザ認証を提供する LDAP サーバを指定します。

サンプル・モジュールには、OpenDS LDAP サーバに使用されるプロパティが示されます。ActiveDirectory で機能する値については、このタスクの最後に示されている例を参照してください。LDAP モジュールで使用可能な設定プロパティは、サブトピックで説明されています。

```
<authenticationProvider controlFlag="sufficient"
name="com.sybase.security.ldap.LDAPLoginModule">
  <options name="BindDN" value="cn=Directory Manager"/>
  <options name="BindPassword" value="secret"/>
  <options name="DefaultSearchBase" value="dc=example,dc=com"/>
    <options name="ProviderURL" value="ldap://localhost:10389"/>

  <options name="ServerType" value="openldap"/>
</authenticationProvider>
<provider name="com.sybase.security.ldap.LDAPAuthenticator"
type="authenticator"/>
```

注意：太字で示された値のみを変更します。BindPassword が暗号化されている場合 (Sybase の推奨)、それを定義する行に encrypted="true" を含める必要があります。この行は次のようになります。

```
<options name="BindPassword" encrypted="true"
value="lsnjikfwregfqr43hu5io..." />
```

3. ファイルを保存します。
4. 使用する LDAP サーバの SSL 証明書に、標準以外の認証局による署名がある場合 (自己署名証明書である場合など) は、**keytool** ユーティリティを使用して、JVM または JDK がその証明書を信頼するように設定します。次のようなコマンドを実行します。

Windows の場合：

```
keytool -import -keystore %SYBASE_JRE7%\lib\security\cacerts -
file
<your cert file and path> -alias ldapcert -storepass changeit
```

UNIX の場合：

```
keytool -import -keystore $SYBASE_JRE7/lib/security/cacerts -
file
<your cert file and path> -alias ldapcert -storepass changeit
```

ActiveDirectory に使用される LDAP 設定値

ActiveDirectory server については、LDAP ログイン・モジュールの設定プロパティに次の値を使用します。

```
ServerType: msad2K
DefaultSearchBase: dc=<domainname>,dc=<tld> or o=<company
name>,c=<country code>
E.g. dc=sybase,dc=com or o=Sybase,c=us
ProviderUrl: ldaps://<hostname>:<port>
E.g.: ldaps://myserver:636
AuthenticationFilter: (&!(userPrincipalName={uid})
(objectclass=user))
BindDN: <User with read capability for all users>
BindPassword: <Password for BindDN user>
RoleFilter: (! (objectclass=groupofnames) (objectclass=group))
controlFlag: sufficient
```

Next

LDAP グループに対する Sybase Control Center の役割のマッピング

SCC for Sybase IQ ヘルプ: LDAP Configuration Properties (LDAP 設定プロパティ)

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Configuring an LDAP Authentication Module] > [LDAP Configuration Properties] タスクに対するいくつかの変更は、SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプに反映されていません。

- 最初の段落は、次のように変更されています。
LDAP サービスを制御するには、csi_config.xml ファイルで次のプロパティを使用します。
- AuthenticationFilter テーブル・ロー (ロー 6) は次のように変更されています。

プロパティ	デフォルト値	説明
Authentication-Filter	ほとんどの LDAP サーバの場合： (<code>&uid={uid}</code>) (<code>objectclass=person</code>) または Active Directory 電子メールのルックアップの場合： (<code>&(userPrincipalName={uid})</code>) (<code>objectclass=user</code>) [ActiveDirectory] Active Directory Windows ユーザ名のルックアップの場合： (<code>&(sAMAccountName={uid})</code>) (<code>objectclass=user</code>)	ユーザのルックアップ時に使用するフィルタ。 ユーザ名基準のルックアップの実行時は、このフィルタを使用して指定されたユーザ名と一致する LDAP エントリが判定されます。 フィルタ内の文字列 "{uid}" は、指定するユーザ名に置き換えられません。

- BindPassword テーブル・ロー (ロー 10) は次のように変更されています。

プロパティ	デフォルト値	説明
BindPassword	none	BindPassword は、BindDN のパスワードで、任意のユーザの認証に使用されます。BindDN と BindPassword は、LDAP 接続をユニットに分離する際に使用されます。 AuthenticationMethod プロパティは、この初期接続に使用されるバインド・メソッドの決定に使用されます。 Sybase ではパスワードの暗号化を推奨し、これに使用するパスワード暗号化ユーティリティを提供しています。 BindPassword を暗号化する場合は、オプションを設定する行に <code>encrypted=true</code> を含めます。次に例を示します。 <pre><options name="BindPassword" encrypted="true" value="1snjikfwregfqr43hu5io..." /></pre> BindPassword を暗号化しない場合、このオプションは次のようになります。 <pre><options name="BindPassword" value="s3cr3T" /></pre>

- RoleFilter テーブル・ロー (ロー 12) は次のように変更されています。

プロパティ	デフォルト値	説明
RoleFilter	<p>SunONE/iPlanet の場合： (&objectclass=ldapsubentry) (objectclass=nsrolededefinition))</p> <p>Netscape Directory Server の場合： (objectclass=groupofnames) (objectclass=groupofuniqueNames))</p> <p>ActiveDirectory の場合： (objectclass=groupofnames) (objectclass=group))</p>	<p>役割検索フィルタ。このフィルタは役割検索ベースと役割スコープと組み合わせて使用すると、LDAP サーバ内の全役割のリストを返します。選択されたサーバ・タイプによってはいくつかのデフォルト値が存在します。サーバ・タイプを選択しない場合、またはこのプロパティが初期化されていない場合は、役割を利用できません。</p>

SCC for Sybase IQ ヘルプ : Setting Up Roles and Passwords (役割とパスワードの設定)

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Configuring an LDAP Authentication Module] > [Setting Up Roles and Passwords] のトピックは削除されましたが、この削除は SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプに反映されていません。これは破棄してください。

SCC for Sybase IQ ヘルプ : Mapping Sybase Control Center Roles to LDAP or OS Groups (LDAP または OS グループに対する Sybase Control Center の役割のマッピング)

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Mapping Sybase Control Center Roles to LDAP or OS Groups] タスクへの更新は、Sybase IQ オンライン・ヘルプの SCC に反映されていません。このタスクは、次のように更新されています。

LDAP またはオペレーティング・システムを介して認証されたユーザに Sybase Control Center 権限を付与するには、Sybase Control Center で使用される役割を LDAP またはオペレーティング・システムのグループに関連付けます。

前提条件

- 必須：LDAP 認証モジュールの設定。
- オプション：次の LDAP グループを作成して Sybase Control Center ユーザを割り当てます。

- sybase – confers sccUserRole。すべての SCC ユーザを sybase グループに割り当てます。
- SCC Administrator – confers sccAdminRole。SCC 管理者ユーザのみをこのグループに割り当てます。

タスク

Sybase Control Center は、ローカル・オペレーティング・システムまたは LDAP サーバを介してユーザを認証できるように設定できます。このタイプの認証作業を実行するには、認証を提供するシステム (LDAP またはオペレーティング・システム) に存在するグループに SCC の役割をマッピングする必要があります。

sybase および SCC 管理者グループは、role-mapping.xml で事前定義されているため、便利に使用できます。sybase および SCC 管理者グループを LDAP システムに追加して、SCC ユーザおよび管理者にその値を入力すると、次のタスクを省略できます。つまり、下記の手順を実行する必要がなくなります。

次の表は、SCC の役割に対する LDAP と OS グループのデフォルトのマッピングのリストです。ログイン・モジュールは、csi_config.xml で定義されています。

ログイン・モジュール	OS グループ	Sybase Control Center の役割
UNIX プロキシ	root	uaAnonymous、uaAgentAdmin、uaOSAdmin
	sybase	uaAnonymous、uaPluginAdmin、sccUserRole
	user	uaAnonymous
	guest	uaAnonymous
NT プロキシ	Administrators	uaAnonymous、uaAgentAdmin、uaOSAdmin
	sybase	uaAnonymous、uaPluginAdmin、sccUserRole
	ユーザ	uaAnonymous
	Guests	uaAnonymous
LDAP	sybase	uaAnonymous、uaPluginAdmin、sccUserRole
	SCC Administrator	uaAnonymous、sccAdminRole

マッピングの実行には次の 2 つの方法があります。

- (推奨) Sybase Control Center がユーザの認証に使用するオペレーティング・システムまたは LDAP サーバに "sybase" グループと "SCC Administrator" グループを

追加し、Sybase Control Center にアクセスする必要があるすべてのユーザをこれらのグループの一方または両方に追加します。

- role-mapping.xml ファイルを編集して、LDAP またはオペレーティング・システムの既存グループを使用するように Sybase Control Center を設定します。このオプションについて次に説明します。

1. Sybase Control Center が起動している場合は停止します。
2. テキスト・エディタで次のファイルを開きます。
<SCC-install-directory>/conf/role-mapping.xml
3. ファイルで sccUserRole セクションを探します。

```
<Mapping>
  <LogicalName>sccUserRole</LogicalName>
  <MappedName>SCC Administrator</MappedName>
  <MappedName>SCC Agent Administrator</MappedName>
  <MappedName>sybase</MappedName>
</Mapping>
```

4. SCC ユーザの認証に使用している LDAP または OS グループの MappedName 行を追加します。sccUserRole セクションは次のようになります。

```
<Mapping>
  <LogicalName>sccUserRole</LogicalName>
  <MappedName>SCC Administrator</MappedName>
  <MappedName>SCC Agent Administrator</MappedName>
  <MappedName>sybase</MappedName>
  <MappedName>my_SCC_group</MappedName>
</Mapping>
```

5. ファイルで sccAdminRole セクションを探します。

```
<Mapping>
  <LogicalName>sccAdminRole</LogicalName>
  <MappedName>SCC Administrator</MappedName>
</Mapping>
```

6. SCC 管理者の認証に使用している LDAP または OS グループの MappedName 行を追加します。sccAdminRole セクションは次のようになります。

```
<Mapping>
  <LogicalName>sccAdminRole</LogicalName>
  <MappedName>SCC Administrator</MappedName>
  <MappedName>my_SCC_admin_group</MappedName>
</Mapping>
```

7. ファイルを保存し、終了します。
8. (LDAP のみ) LDAP リポジトリで定義された役割が role-mapping.xml で定義された役割と一致していることを確認します。
9. <SCC-install-dir>%conf%csi_config.xml ファイルで、BindPassword プロパティと ProviderURL プロパティを配備内で使用される値に設定します。
<SCC-install-dir>%conf%csi_config.xml ファイルで、BindPassword プロパティと ProviderURL プロパティを配備内で使用される値に設定します。

10. Sybase Control Center を起動します。

SCC for Sybase IQ ヘルプ: パスワードの暗号化

[Get Started] > [Setting Up Security] > [Encrypting a Password] トピックにはいくつかの変更が加えられていますが、SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプには反映されていません。

- 第2段落の「プロパティ・ファイル」は「設定ファイル」に変更されています。
- 第3段落は、次のように変更されています。
Sybase Control Center の bin ディレクトリにある **passencrypt** は、
csi_config.xml の PreConfiguredLoginModule で使用されるパスワードに
SHA-256 ハッシュ・アルゴリズムを使用します。
- 手順2では、**-csi** オプションが **passencrypt** コマンドに追加されています。
パスワードを暗号化するには、**passencrypt -csi** と入力します。

SCC for Sybase IQ ヘルプ: Adding a Login Account to the System (システムへのログイン・アカウントの追加)

オンライン・ヘルプの [Get Started] > [User Authorization] > [Adding a Login Account to the System] トピックは、2点変更されています。

- 最初の注意(手順1の前)は、次のように変更されています。

注意: すべての Sybase Control Center ユーザに対して、ネイティブのログイン・アカウントを手動で作成することはおすすめていません。LDAP またはオペレーティング・システムのユーザ・アカウントを使用してユーザを認証するように Sybase Control Center を設定するほうが効率的です。このようにすると、SCC によって認証されたすべてのユーザにネイティブ・アカウントが自動的に作成されます。

- 2番目の注意(手順9の後)はオンライン・ヘルプから削除されました。

SCC for Sybase IQ ヘルプ: Logins, Roles, and Groups (ログイン、役割、グループ)

[Get Started] > [User Authorization] > [Login, Roles, and Groups] タスクへの更新は、Sybase IQ オンライン・ヘルプの SCC に反映されていません。このタスクは、次のように更新されています。

Sybase Control Center には、事前定義されたログイン・アカウントと役割が組み込まれています。

ログイン・アカウントは、Sybase Control Center に接続可能なユーザを特定します。アカウントには、ユーザに実行が許可されるタスクを制御する役割が指定されています。ユーザはネイティブの SCC アカウントを利用して認証を受けることがで

きますが、オペレーティング・システムまたは LDAP ディレクトリ・サービスに認証を委任する方法のほうが安全です。

Sybase Control Center には事前定義されたログイン・アカウントが付属しています。事前定義されたアカウントは、Sybase Control Center のインストールと設定のみに使用することをおすすめします。このアカウントは、実際の運用環境での使用を想定していません。

表 1 : 事前定義されたログイン・アカウント

Login Name	説明
sccadmin	Sybase Control Center の管理機能のすべてを使用できます。設定およびテストに使用します。

役割は、ログイン・アカウントまたはグループに割り当てることができる、事前定義されたプロファイルです。役割は、ログイン・アカウントのアクセス権を制御します。Sybase Control Center には、実際の運用環境での使用を想定した事前定義された役割が付属しています。

表 2 : 事前定義された役割

役割	説明
sccUserRole	Sybase Control Center の管理作業以外のアクセスを提供します。すべてのユーザに必須で、認証されたすべてのユーザに自動的に割り当てられる。
sccAdminRole	Sybase Control Center の管理作業のための管理権限を提供します。

SCC 製品モジュールのモニタ権限は、自動的に割り当てられます。

グループは、1つ以上のログイン・アカウントで構成されます。1つのグループ内のすべてのアカウントに、そのグループに付与された役割が割り当てられます。Sybase Control Center では、ビジネス要件に応じてグループを作成できます。

SCC for Sybase IQ ヘルプ : Setting Up Statistics Collection (統計収集の設定)

トピック [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] の手順 11 の注意の後に新しい段落が追加されていますが、SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプには反映されていません。

スケジュールを作成した後にその期間 (once/repetitively/until 設定) を変更することはできません。スケジュールの期間を変更するには、削除してからスケジュールを作成しなおします。

SCC for Sybase IQ ヘルプ: Viewing or Deleting a Schedule (スケジュールの表示または削除)

この新しいトピックは、SCC for Sybase IQ オンライン・ヘルプには反映されていません。

[Manage and Monitor] > [Manage Sybase Control Center] > [Job Scheduling] > [Viewing or Deleting a Schedule] を選択します。

スケジュールの詳細を表示するか、データ収集ジョブからスケジュールを削除します。

1. [Perspective Resources] ビューからジョブに関連付けられたリソースを選択し、[Resource] > [Properties] を選択します。
2. [Collection Jobs] を選択します。
3. 収集ジョブのスケジュールを表示するには、ジョブ名の左にある矢印をクリックしてジョブを展開します。ジョブ名の横に矢印がない場合、そのジョブにはスケジュールがありません。
4. スケジュールを選択します。[Schedule] タブに名前、説明、開始/終了日付、繰り返し間隔が表示されます。
5. (オプション) 選択したスケジュールを削除するには、[Delete] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

アラートに関する説明: SCC for Sybase IQ

Sybase Control Center for Sybase IQ の オンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。。

データ収集名についての記述が、オンライン・ヘルプ・トピック、[Configure] > [Creating an Alert] > [Sybase IQ Alerts, Collections, and KPIs] にありません。アラートは、主要パフォーマンス指標 (KPI: Key Performance Indicator) に基づいています。データ収集ごとの KPI のリストについては、オンライン・ヘルプの [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Sybase IQ Data Collections] にあるテーブルを参照してください。CR #683329

Sybase IQ マルチプレックスのログイン認証のトラブルシューティング

Sybase Control Center for Sybase IQ の オンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。。

SCC によってモニタされるマルチプレックス・リソースは、マルチプレックス内の全ノードにアクセスできる共有ログイン・アカウントを使用して認証する必要があります。全ノードへのアクセスが付与されていないログインを使用して SCC の認証を受けようとする、次のセキュリティ・エラーが表示されます。
Connection disallowed by login policy for this user. CR #653603

Sybase IQ の設定ファイル・エディタ

Sybase Control Center for Sybase IQ の オンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。。

Sybase IQ servers については、管理コンソールで [Edit Configuration File] を選択できます。設定ファイル・エディタが開き、データベース・ファイルと同じディレクトリに `params.cfg` ファイルが存在する場合は、このファイルを読み込んで、`params.cfg` の設定パラメータをエディタ内のフィールドに入力します。[OK] をクリックすると、設定ファイル・エディタによって、変更内容が `params.cfg` ファイルに書き込まれます。

データベース・ディレクトリに `params.cfg` ファイルが存在しない場合、フィールドにパラメータが表示されない状態で設定ファイル・エディタが開きます。[OK] をクリックすると、データベース・ディレクトリに新しい `params.cfg` ファイルが書き込まれます。

現在、設定ファイル・エディタではデータベース・ディレクトリ以外のロケーションに格納されたユーザ設定ファイル、または `params.cfg` 以外の名前が付けられたユーザ設定ファイルを開くことはできません。CR #647826

Sybase IQ のデフォルトのデータ収集

Sybase Control Center for Sybase IQ に付属する オンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。。製品マニュアル Web サイトのヘルプに含まれています。

次の情報が [Sybase Control Center for Sybase IQ] > [Configure] > [Setting up Statistics Collection] > [Sybase IQ Data Collections] に追加されました。

デフォルトの収集である、シンプレックスの可用性収集と、マルチプレックスのマルチプレックス可用性収集を常に実行することを強くおすすめします。CR #684685

Sybase IQ サーバのプロパティの要求ログ

一部の Request Logging オプションは、まとめて指定する必要があります。完全な説明については、[SQL Anywhere Server - SQL Reference] > [System procedures] > [Alphabetical list of system procedures] > [sa_server_option_system procedure] を参照してください。CR #653592

`sccinstance -host` オプション

Sybase Control Center オンライン・ヘルプの一部のモジュールで、**`sccinstance -host`** オプションがトピック [Get Started] > [Deploying an Instance from a Shared Disk Installation] > [sccinstance Command] から省略されています。

追加の説明や情報の入手

このオプションのフラグはインスタンスを実行するホストを指定しますが、これはインスタンス名がホスト名に一致しない場合にのみ必要です。-host を -create と共に使用します。CR #685883

管理コンソールの起動

Administration Console を起動するのがタスクに最適であるにもかかわらず、その起動手順が記載されていないオンライン・ヘルプのトピックがいくつかあります。Administration Console には、1つのリソース、リソースのグループ、またはすべてのリソースの情報を、現在の観点で表示できます。

- Administration Console に1つまたは複数のリソースの情報を表示するには、[Perspective Resources] ビューでリソースを選択し、[Resource] > [Administration Console] を選択します。この方法が最も短時間で済みます。
- Administration Console にすべてのリソースの情報を現在の観点で表示するには、メイン・メニュー・バーで、[View] > [Open] > [Administration Console] を選択します。多数のリソースを監視している場合は、Administration Console にロードするのに数分かかります。CR #668582

追加の説明や情報の入手

Sybase Getting Started CD、Sybase Product Manuals Web サイト、オンライン・ヘルプを利用すると、この製品リリースについて詳しく知ることができます。

- Getting Started CD (またはダウンロード) – PDF フォーマットのリリース・ノートとインストール・ガイド、その他のマニュアルや更新情報が収録されています。
- にある製品マニュアルは、Sybase マニュアルのオンライン版であり、標準の Web ブラウザを使用してアクセスできます。マニュアルはオンラインで参照することも PDF としてダウンロードすることもできます。この Web サイトには、製品マニュアルの他に、EBFs/Maintenance、Technical Documents、Case Management、Solved Cases、Community Forums/Newsgroups、その他のリソースへのリンクも用意されています。
- 製品のオンライン・ヘルプ (利用可能な場合)

PDF 形式のドキュメントを表示または印刷するには、Adobe の Web サイトから無償でダウンロードできる Adobe Acrobat Reader が必要です。

注意: 製品リリース後に追加された製品またはマニュアルについての重要な情報を記載したさらに新しいリリース・ノートを製品マニュアル Web サイトから入手できることがあります。

サポート・センタ

Sybase 製品に関するサポートを得ることができます。

組織でこの製品の保守契約を購入している場合は、サポート・センタとの連絡担当者が指定されています。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通して Sybase 製品のサポート・センタまでご連絡ください。

Sybase 製品およびコンポーネントの動作確認

動作確認レポートは、特定のプラットフォームでの Sybase 製品のパフォーマンスを検証します。

動作確認に関する最新情報は次のページにあります。

- パートナー製品の動作確認については、http://www.sybase.com/detail_list?id=9784 にアクセスします。
- プラットフォームの動作確認については、<http://certification.sybase.com/ucr/search.do> にアクセスします。

MySybase プロファイルの作成

MySybase は無料サービスです。このサービスを使用すると、Sybase Web ページの表示方法を自分専用カスタマイズできます。

MySybase プロファイルを作成するには、次の手順に従います。

- <http://www.sybase.com/mysybase> にアクセスして、[Register Now] をクリックします。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能を使用すると、身体障害者を含むすべてのユーザーが電子情報に確実にアクセスできます。

Sybase 製品のマニュアルには、アクセシビリティを重視した HTML 版もあります。

オンライン・マニュアルは、スクリーン・リーダーで読み上げる、または画面を拡大表示するなどの方法により、視覚障害を持つユーザがその内容を理解できるよう配慮されています。

Sybase の HTML マニュアルは、米国のリハビリテーション法第 508 条のアクセシビリティ規定に準拠していることがテストにより確認されています。第 508 条に準拠しているマニュアルは通常、World Wide Web Consortium (W3C) の Web サイト用ガイドラインなど、米国以外のアクセシビリティ・ガイドラインにも準拠しています。

注意：アクセシビリティ・ツールを効率的に使用するには、設定が必要な場合があります。一部のスクリーン・リーダーは、テキストの大文字と小文字を区別して発音します。たとえば、すべて大文字のテキスト (ALL UPPERCASE TEXT など) はイニシャルで発音し、大文字と小文字の混在したテキスト (Mixed Case Text など) は単語として発音します。構文規則を発音するようにツールを設定すると便利かもしれません。詳細については、ツールのマニュアルを参照してください。

Sybase のアクセシビリティに対する取り組みについては、次の Sybase Accessibility サイトを参照してください。 <http://www.sybase.com/products/accessibility>。このサイトには、第 508 条と W3C 標準に関する情報へのリンクもあります。

製品マニュアルには、アクセシビリティ機能に関する追加情報も記載されています。

Sybase Control Center アクセシビリティ情報

Sybase Control Center は、Adobe Flex アプリケーションを使用しています。

Adobe Flex のキーボード・ショートカットに関する最新の情報については、http://livedocs.adobe.com/flex/3/html/help.html?content=accessible_5.html を参照してください。

注意：JAWS 付き Sybase Control Center (Windows 版) のスクリーン読み上げソフトウェアを効率的に使用するには、適切な Adobe スクリプトをダウンロードしてインストールします。 <http://www.adobe.com/accessibility/products/flex/jaws.html> を参照してください。
